

## I. 一般概要

財団法人日本ゲートボール連合は、新規のゲートボール愛好者を取り込み、世代間交流の促進を図るためゲートボールの各種普及事業を推進している。

誕生後 60 年以上経過したゲートボールであるが、愛好者の中で 60 歳以上の高齢者が占める割合は依然として高いことから、ジュニア層やミドル層への普及事業を積極的に展開するとともに、これら普及事業に地元の指導員等が参加することで、世代間の交流を促し、高齢者の知識・技能の伝承、地域の犯罪防止など社会問題に対応することを主眼においた。

具体的には、日本財団助成事業としてジュニアやミドルの参加を促す「全日本世代交流大会」「全国ジュニア大会」「全国社会人大会」「ゲートボール技能研修会」の開催、親子の参加を推奨し親子の絆をより強固なものとする「親子いきいきランド」「親子ゲートボール教室」の開催、また、これらの事業を各地域で今後も継続的に実施できるように「地域指導者の育成」を目的に「親学・地域指導者研修会」「競技指導者研修会」「モデル校セミナー」「ジュニア・ユース交流会」「技能指導者会議」をそれぞれ開催した。

また、ゲームバリエーションの多様化を図るべく、少人数でもゲートボールを楽しめる「リレーションー2」「リレーションー3」の統一した競技要領を作成したほか、ゲートボールの技能向上を図るため「ゲートボール技能認定制度」を制定・実施した。

これら普及事業の展開と合わせ、長年の悲願である「ゲートボールの国民体育大会正式競技種目採用」について、ゲートボール振興議員連盟の支援のもと、100万人署名活動など文部科学省および（財）日本体育協会に積極的に働きかけた。

さらに、世界ゲートボール連合・アジアゲートボール連合の業務受託により海外への普及を目的に台湾の彰化縣で開催した「第5回アジアゲートボール選手権大会」を支援したほか、「ジュニア国際親善交流大会」の開催、第10回世界ゲートボール選手権大会の事前調査、普及国・地域への支援活動、国際親善大会への国際審判員、選手の派遣等の事業を日本財団の助成金により実施し、文部科学省の受託事業では、韓国の高校生との間で「ジュニア国際交流事業」を実施し、ゲートボールのみならず文化交流を図ることにより多大なる成果が得られた。

公益法人改革の対応としては、本連合は「公益財団法人」への移行を組織決定した。

事務局体制は、人件費の上昇を極力抑えるため、嘱託職員、アルバイト等の採用により、日常業務に支障をきたさないよう配慮しながら事務の合理化、経費節減に努めた。

平成20年度も、本連合の監督官庁である文部科学省の指導と、関係団体の支援のもと、加盟団体と連携、協調して以下の事業を実施した。

## II. 事務報告

### 1. 基本財産

平成 21 年 3 月 31 日現在の基本財産は、1 億円である。

※新会計基準により、財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、101,418,000 円となっている。

### 2. 役員等

#### (1) 役員（任期：平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

本連合の理事は 15 名以上 22 名以内、監事は 2 名である。平成 20 年 4 月 1 日現在の役員は理事 18 名、監事 2 名であり、平成 21 年 3 月 31 日現在の役員は、役員名簿（別表 1）のとおり理事 17 名、監事 2 名で、平成 20 年度における理事の異動は次のとおり。

平成 20 年 6 月 6 日付 学識理事 森島賢二 氏 理事辞任

木村雅治 氏 理事就任

全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長会議 幹事長の交代による変更

平成 21 年 1 月 16 日付 学識理事 石神重信 氏 理事辞任

氏の都合により退任

#### (2) 評議員（任期：平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

本連合の評議員は 55 名以上 60 名以内である。平成 20 年 4 月 1 日現在の評議員は、58 名であり、平成 21 年 3 月 31 日現在の評議員は、評議員名簿（別表 2）のとおり 58 名である。また、平成 20 年度における評議員の異動は、次のとおり。

平成 20 年 6 月 13 日付 宮 城 庄司 晋 ⇒ 酒井力之助

神 奈 川 高崎保雄 ⇒ 岡田喜久雄

三 重 坂本和生 ⇒ 渋谷節男

宮 崎 川越利雄 ⇒ 長田利光

平成 21 年 3 月 3 日付 山 形 結城 功 ⇒ 柘田敏行

東 京 西山 實 ⇒ 林 正男

#### (3) 専門委員会委員（任期：平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

本連合には 3 部門の専門委員会があり、平成 21 年 3 月 31 日現在の各専門委員会委員は、専門委員会名簿（別表 3）のとおり総務財政委員 11 名、競技・審判委員 11 名、普及指導委員 10 名である。

### 3. 会議

本連合の事業遂行のため、理事会・評議員会・専門委員会を以下のとおり開催した。理事会・評議員会においては事業遂行の重要案件を審議し、各専門委員会においては会長の諮問等について審議し答申した。

#### (1) 理事会の開催

1) 第 68 回理事会 平成 20 年 6 月 13 日 於：日本財団ビル  
審議事項

- 第1号議案 平成19年度事業報告ならびに収支決算に関する件
- 第2号議案 平成21年度日本財団への助成事業申請に関する件
- 第3号議案 規程の一部改正に関する件
- 第4号議案 評議員の変更に関する件
- 第5号議案 賛助会員の脱退に関する件

2) 第69回理事会 平成21年3月3日 於：海洋船舶ビル  
審議事項

- 第1号議案 平成20年度収支予算の一部補正に関する件
- 第2号議案 平成21年度事業計画ならびに収支予算に関する件
- 第3号議案 規程の制定および一部改正に関する件
- 第4号議案 評議員の変更に関する件
- 第5号議案 賛助会員の入会及び脱退に関する件
- 第6号議案 公益財団法人への移行に関する件
- 第7号議案 平成23年度日本連合主催全国大会の開催地に関する件

(2) 評議員会の開催

1) 第61回評議員会 平成20年6月6日 於：温根湯ホテル  
審議事項

- 第1号議案 平成19年度事業報告ならびに収支決算に関する件
- 第2号議案 平成21年度日本財団への助成事業申請に関する件
- 第3号議案 役員の辞任および選任に関する件
- 第4号議案 規程の一部改正に関する件

2) 第62回評議員会 平成21年2月27日 於：笹川記念会館  
審議事項

- 第1号議案 平成20年度収支予算の一部補正に関する件
- 第2号議案 平成21年度事業計画ならびに収支予算に関する件
- 第3号議案 規程の制定及び一部改正に関する件
- 第4号議案 公益財団法人への移行に関する件
- 第5号議案 平成23年度日本連合主催全国大会の開催地に関する件

(3) 専門委員会の開催

1) 総務財政委員会

○第1回総務財政委員会 平成20年6月25日・26日 於：海洋船舶ビル  
審議事項

- ① 委員長・副委員長の選任について
- ② 公益財団法人への移行について
- ③ 加盟団体表彰規程及び同実施要領の改正について
- ④ 加盟団体事務処理統一化について

○第2回総務財政委員会 平成20年9月19日（書面発信日）

審議事項

- ① ゲートボール技能認定制度における検定料および登録料の改定について

○総務財政委員会答申

- ① ゲートボール技能認定制度の検定料および登録料について

2) 競技・審判委員会

○第1回 競技・審判委員会 平成20年6月19日・20日 於：海洋船舶ビル

審議事項

- ① 委員長および副委員長の選出について
- ② ゲートボール技能認定制度について
- ③ 全国大会について
- ・全国大会の見直しについて
  - ・全国大会出場時におけるユニフォームについて
  - ・審判員制服の見直しについて
- ④ 国体正式種目化への対応について
- ・全国大会出場チーム監督の公認スポーツ指導者資格義務付け
  - ・競技者、チーム、指導者、審判員等を把握するための登録規程
  - ・競技力向上のためのコーチ制度の導入
  - ・一貫強化指導体制等に係る競技者育成プログラムの整備
  - ・強化拠点（トレセン等）の整備状況
  - ・日本アンチ・ドーピング機構への加盟およびドーピング管理委員会の整備
- ⑤ その他
- ・ゲートボール座談会の実施について
  - ・公式競技規則および審判実施要領の見直しについて
  - ・審判員制度の見直しおよび普及啓発活動について

○第2回 競技・審判委員会（書面） 平成20年9月5日（書面発信日）

審議事項

- ① ゲートボール技能検定制度について
- ・ゲートボール技能認定規程
  - ・ゲートボール技能認定実施要領
  - ・IGS検定／課題A
  - ・検定員委嘱のための免除措置
  - ・ゲートボール技能認定制度の一部改正スケジュール

○第1回 競技・審判小委員会 平成20年8月27日・28日

於：海洋船舶ビル

審議事項

- ① ゲートボール技能認定制度について

○第2回 競技・審判小委員会 平成20年10月11日

於：北海道立青年の家

審議事項

① ゲートボール技能認定制度について

- ・ I G S - 1 ~ 3 級に関するマニュアル掲載内容の最終調整
- ・ マスター I の実施に向けて（講習内容・検定課題の骨子）

3) 普及指導委員会

○第1回 普及指導委員会 平成20年6月17日・18日

於：海洋船舶ビル

審議事項

① 委員長・副委員長の選任について

② 全世代型クラブの創設について

③ ミドル部会ならびにミドルリーグの運営について

④ ユース・ミドル層の技術指導者連絡協議会「ヤングリーダーネットワーク」(仮称)について

4. 公益財団法人への移行

平成18年に公益法人制度改革関連3法が公布され、平成20年12月1日にこれらが施行されたことにより本連合も特例民法法人に移行したが、今後も財団法人として活動を続ける場合、平成25年11月30日までに新たな公益法人の形態への移行が必要となる。

本連合としては、(財)公益法人協会、その他関係団体等のセミナーに参加し、情報収集に努めるとともに総務財政委員会での検討結果も参考に、第62回評議員会、第69回理事会において審議した結果「公益財団法人」へ移行することとしたが、今後も、本連合の事業内容を精査し、移行に伴うメリット、デメリットについて弁護士、公認会計士等を交えて検討することとした。

5. 災害復興支援

平成20年5月12日に中国・四川省で発生した大地震により、震源地を中心に甚大な被害が発生したことから、被災地におけるゲートボール愛好者への復興支援を目的に加盟団体ならびに一般愛好者にも義援金を募り、総計161万501円を中国オリンピック委員会を通じて関係機関に寄付した。

6. 規程の制定および一部改正

次の規程の制定および一部改正を行った。

- (1) 組織規程の改正（第61回・第62回評議員会、第68回・第69回理事会）
- (2) 審判員規程の改正（第62回評議員会、第69回理事会）
- (3) ゲートボール技能認定規程の改正（第62回評議員会、第69回理事会）
- (4) ドーピング防止規程の制定（第62回評議員会、第69回理事会）

## 7. 事務局機構

平成21年3月31日現在の事務局機構は、別表4のとおり3部4課であり、職員10名（嘱託職員1名、アルバイト1名を含む）である。

## 8. 届出・登記事項

### (1) 文部科学省への届出

- |               |    |
|---------------|----|
| 1) 役員の移動に伴う届出 | 2件 |
| 2) 事業状況等の報告   | 3件 |

### (2) (財)日本体育協会へ届出

- |               |    |
|---------------|----|
| 1) 役員の移動に伴う届出 | 2件 |
| 2) 事業状況等の報告   | 3件 |

### (3) (財)日本レクリエーション協会への届出

- |               |    |
|---------------|----|
| 1) 役員の移動に伴う届出 | 2件 |
| 2) 事業状況等の報告   | 3件 |

### (4) 登記事項

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1) 資産総額の変更に伴う登記 | 1件 |
| 2) 役員の移動に伴う登記   | 1件 |

## 9. 商標の新規登録・更新

- |         |    |                      |
|---------|----|----------------------|
| 1) 新規登録 | 2件 | 「リレーション-2」「リレーション-3」 |
| 2) 登録更新 | 3件 | 「JGUマーク」             |

### Ⅲ. 事業報告

#### 1. ゲートボールの普及事業

本年度もゲートボール愛好者・会員の拡充を図るため、各種普及活動を実施した。ここ数年、日本財団の助成事業として各加盟団体と協働で継続的に実施してきた「地域いきいき広場」「地域指導者の育成」も計画どおりに終了することができ、ゲートボールの楽しさを体験する機会を提供することができた。各地域で様々なスポーツ・レクリエーション団体や関係団体と連携をとることにより、質の高い事業に取り組むシステムも構築することができた。なお、事業項目、成果は次のとおりである。

##### (1) モデル校を指定する助成事業(210万円)

全国各地の高等学校にゲートボールのクラブ・同好会の発足を促し、高等学校でのゲートボール活動のモデルとなるよう一定の期間、支援・協力を行う本事業も第7期目を迎え、全国ジュニア大会への参加や他校との交流、都道府県高等学校体育連盟への加盟促進などに努力することを条件としてモデル校として新たに4校を指定した。

なお、第6期のモデル校は、平成20年度で事業を終了した。

##### 第6期(平成19・20年度)

- 1) 一関学院高等学校(岩手)
- 2) 県立宮城広瀬高等学校(宮城)
- 3) 県立朝霞高等学校(埼玉)

##### 第7期(平成20・21年度)

- 1) 昌平高等学校(埼玉)
- 2) 南京都高等学校(京都)
- 3) 県立河浦高等学校(熊本)
- 4) 鹿児島情報高等学校(鹿児島)

##### (2) 地域いきいき広場(日本財団助成事業)(1,603万円)

##### 1) 親子いきいきランド

ゲートボールのみならず、各種のスポーツ・レクリエーション、伝統・文化活動を実施した。地域で参加した親子は、多種目のイベントを体験し、親子の絆を深めることができた。とくに、北京オリンピックで活躍した現役のトップレベルの選手を招聘しての事業は、著名人への注目度の高まり、関心の高さを実感させられ、参加した子供たちに夢を与えることができたことで一層の事業の充実が図れた。

##### 平成20年度「親子いきいきランド」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加人数
徳島	すぱーく脇	平成20年8月30日(金) 平成20年8月31日(土)	100名
富山	すぱーく富山	平成20年12月7日(日)	36名
福岡	すぱーく岡垣	平成20年12月20日(日) 平成20年12月21日(月)	250名

栃 木	す ば ー く 栃 木	平成 21 年 2 月 15 日(日)	74 名
山 口	す ば ー く 岩 国	平成 21 年 3 月 29 日(日)	30 名
合 計			490 名

## 2) ゲートボール技能研修会

全国大会で活躍したトッププレイヤーを講師として招き、参加者の競技力向上や学習意欲を引き出すことができた。また、地域指導者の学習の場として、競技指導のノウハウを蓄積することができた。

平成 20 年度「ゲートボール技能研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実 施 日	参加人数
長 崎	諫 早 屋 内 G B 場	平成 20 年 8 月 2 日(土) 平成 20 年 8 月 3 日(日)	50 名
東 京	開 成 学 園 尾 久 の 原 公 園	平成 20 年 10 月 11 日(土) 平成 20 年 10 月 12 日(日)	50 名
埼 玉	す ば ー く 岡 部	平成 20 年 11 月 15 日(土) 平成 20 年 11 月 16 日(日)	50 名
鹿 児 島	鹿 児 島 情 報 高 校 陶 夢 ラ ン ド	平成 20 年 12 月 13 日(土) 平成 20 年 12 月 14 日(日)	144 名
合 計			294 名

## 3) 親子ゲートボール教室

市町村団体の地域指導者が企画・運営を行うとともに地域の親子を対象に開催することで地域の愛好者との交流を促進し、当事業を普及活動の一例として全国展開するとともに、今後は、全国の市町村団体での独自開催を促す。

平成 20 年度「親子ゲートボール教室」開催一覧表

実施団体	開催場所	実 施 日	参加人数
新 潟	す ば ー く 両 津	平成 20 年 8 月 30 日(土)	38 名
岐 阜	中津川市立加子母小学校	平成 20 年 10 月 21 日(火) 平成 20 年 10 月 22 日(水)	40 名
大 分	宇佐市ふれあいプラザ	平成 20 年 12 月 7 日(日)	18 名
合 計			96 名

## (3) 地域指導者の育成（日本財団助成事業）（733 万円）

### 1) 地域指導者の育成

「親学」の講師、テレビ局の元アナウンサー、地方公共団体のスポーツ担当者等を講師に招き、講演をとおして地域指導者の知識を深めるとともに次世代愛好者であるミドル世代の普及策を研究・協議した。

平成 20 年度「親学・地域指導者研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実 施 日	参加人数
山 形	ホ テ ル 王 将 天童勤労者総合スポーツ施設	平成 20 年 11 月 29 日(土) 平成 20 年 11 月 30 日(日)	98 名



富 山	富 山 観 光 ホ テ ル	平成 21 年 2 月 1 日(日)	111 名
高 知	春 野 総 合 運 動 公 園 陸 上 競 技 場 会 議 室	平成 21 年 3 月 7 日(土)	38 名
岡 山	北 ふ れ あ い セ ン タ ー	平成 21 年 3 月 22 日(日)	41 名
合 計			288 名

## 2) 競技指導者研修会

加盟団体の競技指導者を育成することを目的とし、審判法や競技運営方法などを確認し、競技指導者の指導力を高めることができた。

平成 20 年度「競技指導者研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実 施 日	参加人数
北 海 道	留 辺 薬 町 旭 運 動 公 園	平成 20 年 6 月 6 日(金)	167 名
埼 玉	く ま が や ド ー ム	平成 20 年 7 月 13 日(日)	131 名
愛 知	浜 町 グ ラ ン ド	平成 20 年 8 月 26 日(火)	207 名
佐 賀	佐 賀 県 総 合 運 動 場	平成 20 年 9 月 22 日(月)	135 名
合 計			640 名

## 3) ジュニア・ユース指導者研修会

高等学校でのゲートボール活動を更に活発化させるため、指導教員を招集し、ゲートボール活動に関する情報交換や問題点に関する指導講習および意見交換を行った。

実施団体	開催場所	実 施 日	参加人数
埼 玉	す ば ー く 東 松 山	平成 21 年 1 月 10 日(土) 平成 21 年 1 月 11 日(日)	12 名

## 4) ジュニア・ユース交流会

高校生・大学生を中心とする 10～20 歳代のユース世代の活動を充実・活性化のさせるため、本連合が側面から支援した。

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
山 梨 県 笛 吹 市	石 和 町 清 流 公 園	平成 20 年 8 月 23 日(土) 平成 20 年 8 月 24 日(日)	63 名

## 5) ジュニア・ユース育成指導者会議

ジュニア・ユース世代の技能育成を目的とした指導者のネットワーク構築のため、全国各地より指導実績のある指導者を集め、活発な意見交換を行った。結果として、指導者の資質向上等一層の取り組みの必要性を再認識するとともに、各地域における情報を全体で比較・共有することができた。

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
東 京 都 港 区	海 洋 船 舶 ビ ル	平成 21 年 3 月 20 日(金)	9 名

6) 加盟団体マネジメント・セミナー

スポーツ団体としての組織充実のため、実務にかかわる担当者を招集しマネジメント・セミナーを開催した。参加担当者がお互いの加盟団体の状況を知ることによる参加者の意欲向上、ノウハウを共有すること等、参加者同士の繋がりも深めることができた。

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
福岡県福岡市	博多グリーンホテル	平成 21 年 3 月 18 日(水) 平成 21 年 3 月 19 日(木)	29 名
東京都港区	海洋船舶ビル	平成 21 年 3 月 23 日(月) 平成 21 年 3 月 24 日(火)	24 名
合 計			53 名

(4) ユースゲートボール連盟への支援

高校生・大学生を中心とする 10～20 歳代のユース世代を対象としたユースゲートボール連盟の事業を支援した。

1) 第 5 回高校ゲートボール交流会

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
東京都江戸川区	平井運動公園	平成 20 年 11 月 2 日(日)	26 名

2) 2008 秋季ユースゲートボール大会

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
東京都江戸川区	平井運動公園	平成 20 年 11 月 16 日(日)	88 名

3) 2009 春季ユースゲートボール大会

実施場所	会 場	実 施 日	参加人数
東京都江戸川区	平井運動公園	平成 21 年 3 月 21 日(日)	50 名

2. 審判員資格の認定事業(1,457 万円)

(1) 地域別審査委員会の開催

同一の審査基準で審判員資格試験を実施するため、地域の情報の共有化と各加盟団体の連携強化を図り、円滑な業務運営を促すため地域単位での会議を開催した。

平成 20 年度 審査委員会の開催

地域	開催日	開催地	地域	開催日	開催地
北海道	5月 9日	北海道札幌市	東 海	6月11日	愛知県名古屋市
東 北	5月14日	宮城県仙台市	近 畿	5月31日	大阪府大阪市
北信越	7月23日	新潟県三条市	中 国	5月 1日	島根県飯南町
北関東	5月22日	栃木県那須町	四 国	6月29日	徳島県東みよし町
南関東	5月22日	東京都港区	九 州	6月 2日	福岡県福岡市

## 会議内容

- 1) 審査委員長の選出に関する件
- 2) 平成19年度年度資格試験および審査委員派遣の報告に関する件
- 3) 平成20年度資格試験および審査委員派遣の計画に関する件

### (2) 審判員資格試験の実施

競技大会運営において、競技を公正かつ円滑に実施するために審判員は必要不可欠であり、審判技能の向上を図るため、地域協議会の審査委員会ならびに加盟団体の実施委員会の協力を得て各級の審判員資格試験を実施した。

平成20年度の受験者数および合格者数

	受 験 者	合 格 者	備 考
1 級	854名	844名	45加盟団体に実施
2 級	1,501名	1,459名	44加盟団体に実施
3 級	6,210名	6,192名	47加盟団体に実施
合 計	8,565名	8,495名	

### (3) 審判員の登録と登録更新の実施

資格試験合格者の新規登録および有資格者の登録更新は、加盟団体の協力を得て、新規受験者を確保することや審判員の講習会を通して、審判技術の向上を図った。

なお、本年度から永年審判員の登録を開始した。

平成20年度の新規登録者数および登録更新者数

	新規登録者	登録更新者	合 計
1 級	849名	7,654名	8,503名
2 級	1,506名	8,906名	10,412名
3 級	6,192名	43,697名	49,889名
合 計	8,547名	60,257名	68,804名

平成20年度の永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合 計
新規登録者	30名	14名	10名	54名

## 3. 指導者制度(16万円)

### (1) 「専門科目」および「準指導員養成科目」講習・検定試験の実施

普及指導者制度の充実と加盟団体の普及指導体制の確立を図るため、次のとおり指導者の養成を行った。なお、下記のとおり専門科目講習を85名が受講し全員が合格した。

- 1) 「地域スポーツ指導者養成講習会」(専門科目)の開催

団体	期 間	開催地	受講者	合格者
新 潟	平成20年7月17日～8月24日	新潟県三条市	26名	26名
埼 玉	平成20年9月13日～12月11日	埼玉県伊奈町	19名	19名
合 計			45名	45名

2) 「準指導員養成講習会」の開催

加盟団体	期 間	開催地	受講者	合格者
長 野	平成21年3月10日～12日	長野県諏訪市	34名	34名
長 崎	平成21年3月11日～13日	長崎県長崎市	6名	6名
合 計			40名	40名

3) 公認スポーツ（ゲートボール）指導員の登録者数

(財)日本体育協会および本連合に新たに登録された指導員は、2,192名（平成21年3月31日現在）となった。なお、加盟団体の平成20年度の登録者数は、次のとおり。

加盟団体	登録者数	指導員計	加盟団体	登録者数	指導員計
北 海 道	0	34	滋 賀	0	50
青 森	0	8	京 都	0	62
岩 手	0	26	大 阪	0	63
宮 城	0	34	兵 庫	0	88
秋 田	0	10	奈 良	0	3
山 形	0	26	和 歌 山	0	5
福 島	0	25	鳥 取	0	6
茨 城	0	45	島 根	0	19
栃 木	0	32	岡 山	0	84
群 馬	0	5	広 島	0	69
埼 玉	32	163	山 口	0	16
千 葉	0	40	徳 島	9	38
東 京	0	49	香 川	19	64
神 奈 川	0	97	愛 媛	0	31
新 潟	0	155	高 知	0	18
富 山	0	9	福 岡	0	34
石 川	0	39	佐 賀	0	20
福 井	1	21	長 崎	0	40

山 梨	0	43	熊 本	0	10
長 野	43	284	大 分	0	28
岐 阜	0	122	宮 崎	0	35
静 岡	0	55	鹿 児 島	0	27
愛 知	0	16	沖 縄	0	3
三 重	21	41	合 計	125	2,192

4) ゲートボール準指導員の登録者数

本連合に新たに登録された「ゲートボール準指導員」は59名（平成21年3月31日現在）となった。なお、加盟団体の平成20年度の更新者数は、次のとおり。

加盟団体	新規登録	更新登録	準指導員計	加盟団体	新規登録	更新登録	準指導員計
北 海 道	0	0	7	滋 賀	0	0	0
青 森	0	2	2	京 都	0	0	0
岩 手	0	0	0	大 阪	0	0	0
宮 城	0	0	1	兵 庫	0	0	0
秋 田	0	1	1	奈 良	0	0	0
山 形	0	0	0	和 歌 山	0	0	0
福 島	0	0	1	鳥 取	0	0	0
茨 城	0	0	3	島 根	0	0	0
栃 木	0	0	2	岡 山	0	7	18
群 馬	0	0	0	広 島	0	0	1
埼 玉	0	0	0	山 口	0	0	0
千 葉	0	0	0	徳 島	0	0	1
東 京	0	0	0	香 川	0	0	0
神 奈 川	0	0	0	愛 媛	0	0	0
新 潟	0	0	0	高 知	0	0	0
富 山	0	0	0	福 岡	0	1	3
石 川	0	0	0	佐 賀	0	0	0
福 井	0	0	0	長 崎	0	0	7
山 梨	0	0	0	熊 本	0	0	0

長野	0	0	1	大分	0	0	0
岐阜	0	0	7	宮崎	0	0	0
静岡	0	0	0	鹿児島	0	0	0
愛知	0	0	0	沖縄	0	0	0
三重	0	0	4	合計	0	11	59

#### 4. 技能認定制度の導入(58万円)

ゲートボール技能の維持向上と新たな愛好者の掘り起こし、個人技能レベルの目標設定を図るため、技能認定制度（IGS検定）を導入した。本年度は12加盟団体でIGS検定を実施し、同制度の検定員を養成する目的で、789名の方がIGS-1級に登録した。

加盟団体別のIGS-1級登録者は以下のとおり。

加盟団体	IGS-1級登録者数	加盟団体	IGS-1級登録者数
北海道	47名	静岡	39名
岩手	134名	三重	12名
山形	42名	兵庫	191名
茨城	22名	香川	10名
埼玉	77名	福岡	57名
新潟	129名		
岐阜	29名	合計(12団体)	789名

#### 5. ゲートボール2人制・3人制の普及

従来から各地で実施されていた2人制および3人制のゲートボールを、それぞれ「リレーション-2」、「リレーション-3」と称して競技要領を統一し、ジュニア層・ミドル層を中心に、新感覚の知的コミュニケーション・スポーツとして、パンフレット等により普及展開を図った。

#### 6. 大会の主催

本連合は、全国の都道府県加盟団体を代表する人格技量ともに優秀なチーム（選手）を一堂に会し、ゲートボールの技能向上や加盟団体会員間の相互交流を図ることを目的として、各種全国大会を毎年開催している。この全国大会は、ゲートボール界の発展やゲートボール競技のステータス向上に寄与するだけでなく、会員間の団結力の強化や、県外の方々を快くお迎えしようというボランティアシップの高揚、経済効果を含めた地域振興に貢献することができ、開催地をはじめとする多くの方々に喜ばれている。

##### (1) 全国大会(8,287万円)

##### 1) 笹川良一杯 第23回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

年齢、性別により4クラスに分けて、同性・同年代の愛好者同士でゲームを展開し、親睦を深め、人と人とのふれあいの中からゲートボール愛好者の和とその楽しさ、ゲートボールの真の姿を社会的にアピールすることを目的とし、本大会を開催した。

期 日 平成20年6月7日（土）・8日（日）  
 開 催 地 北海道北見市  
 会 場 留辺蘂町旭運動公園  
 主 管 北海道ゲートボール連合  
 参加チーム 192チーム  
 参加人員 1,172名  
 成 績

	＜シニアクラス＞		＜シニアレディースクラス＞	
順位	チーム名	加盟団体	チーム名	加盟団体
優勝	西海大島	長崎	紅竜	茨城
準優勝	埼玉シニア	埼玉	山形鶴岡	山形
第3位	芽室・柏	北海道	仙台泉	宮城
第3位	志村紅花	山形	ほっと小松	石川

	＜ミドルクラス＞		＜ミドルレディースクラス＞	
順位	チーム名	加盟団体	チーム名	加盟団体
優勝	ザ小樽	北海道	長尾銀河	香川
準優勝	TKE	新潟	青空会	茨城
第3位	ドラゴンズA	茨城	フレンドミドルレディース	鹿児島
第3位	北斗クラブ豊北	北海道	おおがきレディース	岐阜

2) 内閣総理大臣杯 第25回全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

高齢者の生きがい対策だけでなく、ゲートボールを通じて高齢者・青壮年・子供がともに楽しむ世代間交流を図ることにより、調和のとれた地域コミュニティーを創造することを目的とし、本大会を開催した。

期 日 平成20年7月20日（土）・21日（日）  
 開 催 地 埼玉県熊谷市  
 会 場 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム  
 主 管 埼玉県ゲートボール連盟  
 参加チーム 48チーム  
 参加人員 314名

成 績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	ま く わ	岐阜 卓

準優勝	姫 路 レ イ ン ボ ー	兵 庫
第 3 位	小 豆 島 豊 栄	香 川
	フ レ ン ド ス ポ ー ツ ク ラ ブ	鹿 児 島
第 4 位	ゲ ー ト ス タ ー ズ	栃 木
	岩 手 矢 巾	岩 手
	小 樽 ス パ ー ク ク ラ ブ	北 海 道
	西 蓑 フ ァ ミ リ ー	新 潟
敢闘賞	西 蓑 フ ァ ミ リ ー	新 潟

### 3) 第13回全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

全国の各都道府県から選ばれたゲートボールを愛好する児童・生徒を一堂に会し、競技を通じた交流のもとに相互の友好を深めることにより、次代を担う児童・生徒の心身の健全な育成や、日本スポーツのさらなる振興を目的とし、本大会を開催した。

期 日 平成20年7月20日(土)・21日(日)

開 催 地 埼玉県熊谷市

会 場 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム

主 管 埼玉県ゲートボール連盟

参加チーム 87チーム

参加人員 627名

成 績

#### <ジュニア男子1部クラス>

順位	チーム名	加盟団体
優勝	M A N A B U 会	福 岡
準優勝	フ ェ ニ ッ ク ス 京 都	京 都
第 3 位	南 大 隅 高 校	鹿 児 島
第 3 位	淳 風 A	京 都

#### <ジュニア女子1部クラス>

順位	チーム名	加盟団体
優勝	作 新 ク ラ ブ A	栃 木
準優勝	出 雲 西 高 校 A	島 根
第 3 位	安 城 学 園 高 等 学 校	愛 知
第 3 位	ツ ー カ ー 2 5	愛 媛

#### <ジュニア2部クラス>

順位	チーム名	加盟団体
優勝	M A N A B U 会 ジュニア	福 岡
準優勝	殿 下 ジ ュ ニ ア	福 井
第 3 位	白 根 凧	新 潟
第 3 位	洗 心 ジ ュ ニ ア	福 井

### 4) 第10回全国社会人ゲートボール大会（日本財団助成事業）

各都道府県で一定の職業に従事する社会人の代表チームが一堂に会す機会を提供し、企業スポーツとしてのゲートボールの普及振興に資することにより、社会人の健



康の保持増進、職場内の親睦、同業種間・異業種間の交流、勤労意欲の向上を図り、活力ある社会づくりに寄与することを目的とし、本大会を開催した。

期 日 平成20年9月13日（土）・14日（日）  
 開 催 地 愛知県名古屋市  
 会 場 名古屋市瑞穂運動場 北陸上競技場  
 主 管 愛知県ゲートボール連盟  
 参加チーム 48チーム  
 参加人員 312名  
 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	大 阪 み ど り	大 阪
準優勝	ト ヨ タ 自 動 車	愛 知
第 3 位	札 幌 市 役 所 G B 同 好 会	北 海 道
第 3 位	広 畑 美 装	兵 庫

#### 5) 文部科学大臣杯 第24回全日本ゲートボール選手権大会

年齢・性別を問わず全国から集う人格・技量ともに最優秀の代表チームが安全・公平にその技量を競い合う環境を提供することにより、わが国の最高位チームを決定し、ゲートボール競技の技能向上やさらなる普及を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とし、本大会を開催した。

期 日 平成20年10月4日（土）・5日（日）  
 開 催 地 佐賀県佐賀市  
 会 場 佐賀総合運動場 陸上競技場・球技場北  
 主 管 佐賀県ゲートボール協会  
 参加チーム 48チーム  
 参加人員 301名  
 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	フ レ ン ド ス ポ ー ツ ク ラ ブ	鹿 児 島
準優勝	大 阪 み ど り	大 阪
第 3 位	S Y	新 潟
第 3 位	健 祥 会	徳 島

#### 6) 都道府県加盟団体総合成績について

本連合主催の全国大会における参加チームの「参加ポイント」・「競技ポイント」・「入賞ポイント」を合計し、平成20年度の総合成績を次のとおり決定した。

なお、各大会でのポイントや、総合ポイントが同じ場合の順位決定については、全国ゲートボール大会開催要領による。

都道府県加盟団体総合成績

順位	加盟団体	ポイント
第1位	鹿児島	102
第2位	新潟	98
第3位	兵庫	96
第4位	福岡	90
第5位	茨城	88
第6位	香川	86
第7位	愛知	80
第8位	北海道	80

※第7位の愛知県と第8位の北海道は同じ80ポイントを獲得しているが、愛知県の優勝数がないため、全国ゲートボール大会開催要領第10条第2項第2号②の規定により、愛知県を上位とした。

※本年度から、全国ジュニアゲートボール大会のジュニア女子1部クラスに限らず、欠場チームのある加盟団体でも、欠場した大会のポイントをもととして、都道府県加盟団体総合成績の表彰対象とした。

(2) 地域大会 (1,869万円)

地域協議会内の加盟団体の相互交流と競技力向上を図ることを目的とし、各地域協議会および所属加盟団体の協力を得て地域選手権大会を開催した。また、地域単位でのジュニア大会、ミドル大会が独自に開催されたことは、各種普及事業の成果である。

1) 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月12日・13日	35	小樽スパーククラブA
東北	山形	7月26日・27日	24 24	宮古市(無制限) 十和田湖(65才以上)
北信越	長野	5月31日・6月1日	100	倉垣
北関東	栃木	9月6日・7日	64	高崎睦会
南関東	神奈川	9月24日	32	南アルプスクラブ
東海	岐阜	9月28日	48	萬燈組
近畿	大阪	9月6日・7日	120	大阪みどり
中国	鳥取	9月27日・28日	48 24	高屋健友会(一般) ナイスボール(女子)
四国	愛媛	5月11日	48	丸亀
九州	宮崎	11月22日・23日	64	フレンドスポーツ

## 2) 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	山形	7月26日・27日	3	ししなごファイターズ
南関東	山梨	8月7日	6 5	S U S A (1部) 四谷クラブ (2部)
東海	静岡	7月27日	5	富士野
四国	徳島	7月27日	2	高松ジュニア
九州	長崎	8月23日・24日	1 10	南大隅高校 (1部) MANABU会ジュニア (2部)

## 3) 地域社会人大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国	徳島	7月27日	2	健祥会キング

## 4) 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝
東海	静岡	7月27日	3 4	なでしこ (ミドルデイズ) 桜友会 (ミドル)
四国	香川	6月1日	24	高知県
九州	長崎	8月23日・24日	23	UMI part2

## 7. アンチ・ドーピング活動の展開

ゲートボールは日本で生まれた誇り高いスポーツであり、これからもたくさんの仲間と楽しくプレーするこのゲートボールにおいて、薬物などの力を借りることなく、どの選手も公明正大に競技を楽しむ環境をつくりあげることが、ゲートボールに今、親しんでいる我々にとっての大切な任務であることから、財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のアドバイスを受け、ドーピング防止規程を制定するとともに、本連合の競技・審判委員会内に、ドーピング防止委員会を設置した。

これにより、スポーツ競技団体として、競技者の健康を害し、反社会的で、フェアプレーの精神に反するドーピングをしない環境づくりに着手した。

## 8. 各種大会の後援等

中央省庁等が関係する行事に対して、開催地加盟団体の協力のもと主催または後援し、ゲートボールの普及発展および参加者相互の交流に寄与した。

### (1) 第21回全国スポーツ・レクリエーション祭 (ゲートボール競技)

期 日 平成20年10月18日 (土) ~20日 (月)

開催地 滋賀県長浜市

会 場	滋賀県立長浜ドーム
主 催	文部科学省、(財)日本ゲートボール連合、(財)日本体育協会 (財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合 滋賀県、長浜市
主 管	滋賀県実行委員会、(財)滋賀県体育協会、滋賀県ゲートボール 連盟、長浜市実行委員会
参加チーム	96 チーム (韓国 2 チーム含む)
参加人数	864 名

(2) 第 21 回全国健康福祉祭かごしま大会 (ゲートボール交流大会)

期 日	平成 20 年 10 月 25 日 (土) ~27 日 (月)
開 催 地	鹿児島県霧島市
会 場	国分運動公園
主 催	厚生労働省、鹿児島県、霧島市、ねんりんピック鹿児島 2008 実行委員会、(財)長寿社会開発センター、ねんりんピック鹿児 島 2008 霧島市実行委員会
主 管	鹿児島県ゲートボール協会
後 援	(財)日本ゲートボール連合
参加チーム	164 チーム
参加人数	1,003 名

9. ゲートボール用具の認定(53万円)

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に基づき、競技が公正かつ安全に行えることを目的とした用具の認定基準を定め、第三者機関の検査により、これに合格したゲートボール用具を認定するとともに、認定証紙(シール)を継続して発行した。

また、ゲートボール用具について本連合と認定契約を締結している業者同士が組織するゲートボール認定用品工業会と、組織の確立や将来に向けた話し合いの場を設け、同工業会の今後の指針に関する意見交換を行った。

10. 国民体育大会の正式競技種目採用への活動

ゲートボールの国体正式競技種目採用は、若年層へのゲートボール普及に不可欠であり、各年齢層の愛好者を増やし世代間交流の促進を図るため、重要かつ早期実現が必要な課題である。

以前から、ジュニア大会・社会人大会の開催、モデル校指定事業等対策を講じてきたが、文部科学省および(財)日本体育協会が進める国体改革を機に、100万人を目標とする署名活動を行い、関係諸機関にアピールするとともに、ゲートボール振興議員連盟等の支援を受けながら、加盟団体を通じ各都道府県体育協会へも働きかけを行った。

11. 大会協賛企業ならびに賛助会員の募集

本連合の円滑な事業運営を図るため、全国大会への協賛ならびに賛助会員の募集活動を積

極的に行った。

(1) 大会協賛企業

本連合主催の全国大会にご協賛いただいた企業等は次のとおり(順不同)。

山崎製パン株式会社

財団法人競艇振興センター(通称:競艇振興会)

近畿日本ツーリスト株式会社

トップツアー株式会社

日本通運株式会社

大日本トラベル株式会社

株式会社エヌ・エル・エー

株式会社日本レジャーチャンネル

日本ゲートボール認定用品工業会

(2) 賛助会員

20年度においては、4社の入会および7社の脱会があった。

平成21年3月31日現在の賛助会員34社は次のとおり。(順不同)

会社名	所在地
(株)ニチヨー	栃木県足利市堀込町 2451
(株)サンシャインスポーツ	長野県松本市島内 5330
村上木工挽物(有)	埼玉県和光市白子 3-36-40
(株)サン	新潟県三条市下須頃 5-1
(株)ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城 5-9-14
(株)シャトル	福井県越前市家久町 87-21-1
(株)ロンウッド	富山県南砺市法林寺 518
(株)本郷	広島県廿日市市木材港北 1-4
(株)サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里 3-12-23
(株)ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町 1-12-8
(有)福島木工所	熊本県熊本市世安町 36
(有)やるき産業	熊本県熊本市西原 2-11-49
羽立工業(株)	静岡県湖西市新所 3
(株)ウシクボ	東京都墨田区東向島 6-15-7
井上工業(株)	兵庫県加東市上滝野 1613
(株)かいせい	東京都港区西新橋 2-15-3
トップツアー(株)	東京都新宿区西新宿 1-20-2
(株)東京ビー・エム・シー	東京都港区虎ノ門 1-11-2
日本通運(株)首都圏旅行支店	東京都港区東新橋 1-9-3
大日本トラベル(株)	東京都港区新橋 4-6-6
(株)オーエムシーカード	東京都港区港南 2-16-4
東日観光(株)	東京都中央区築地 4-7-5

(株)天賞堂	東京都中央区銀座 4-3-9
(株)大真	東京都千代田区岩本町 3-7-13
(N)日本スポーツリスク協会	東京都品川区東五反田 1-14-10
(株)サンクリエイト	神奈川県横浜市戸塚区汲沢町 1173-1-604
丸菱産業(株)	東京都新宿区西新宿 1-22-2
近畿日本ツーリスト(株)	東京都千代田区神田松永町 19-2
(株)恒亜印刷	東京都文京区千石 2-4-5
エーアンドエー(株)	東京都千代田区西神田 3-3-5
* (株)アオイスports企画	神奈川県川崎市多摩区菅仙谷 4-6111-1
* 名鉄観光サービス(株)	東京都品川区西五反田 2-12-3
* (株)エヌ・エル・エー	福岡県福岡市博多区店屋町 3-20
* (株)サンワ	埼玉県戸田市新曽 1948

\*付は、20年度入会

## 12. 共済見舞金事業(3,960万円)

本制度はゲートボール会員の相互扶助の精神に基づき、愛好者が安心してプレーを楽しめる環境を提供し、給付対象事故に所定の見舞金を給付してきた。平成20年度の加入者数は、174,202名となり、前年度と比較して14,159名の減少であったが、給付件数も38件の減少となった。

また、保険業法の改正により、現状では近い将来、共済見舞金事業を継続することが不可能となるため(現在は移行猶予期間)、本事業の改正も視野に入れ、担当官庁である金融庁と協議を重ねている。

\*「加入者数および事故発生状況一覧表」(30ページ)参照

### 年度別共済見舞金制度運営実績一覧

	加入者数	給付件数	死亡	入院	通院	見舞金給付額(円)
昭和62年度	249,314	411	26	119	266	34,100,000
昭和63年度	271,371	504	32	178	294	43,895,000
平成1年度	298,674	414	37	138	239	40,545,000
平成2年度	301,400	474	28	189	257	38,600,000
平成3年度	313,280	507	43	173	291	49,655,000
平成4年度	302,957	480	46	192	242	49,775,000
平成5年度	299,854	412	23	155	234	32,580,000
平成6年度	292,867	398	25	148	225	34,260,000
平成7年度	289,263	364	24	153	187	33,040,000
平成8年度	286,614	395	40	160	195	44,750,000
平成9年度	285,943	378	21	167	190	30,940,000
平成10年度	284,074	386	37	172	177	41,120,000
平成11年度	281,196	316	24	128	164	29,355,000

平成 12 年度	282,074	385	27	158	200	33,990,000
平成 13 年度	269,960	351	33	150	168	39,195,000
平成 14 年度	262,324	304	30	131	143	33,100,000
平成 15 年度	252,923	311	21	154	136	29,280,000
平成 16 年度	237,006	278	23	124	131	26,130,000
平成 17 年度	222,926	257	19	111	127	23,655,000
平成 18 年度	207,053	219	14	107	98	19,145,000
平成 19 年度	188,361	195	12	90	93	16,845,000
平成 20 年度	174,202	157	9	88	60	14,845,000
平均	266,074	359	27	145	187	33,581,818

### 平成 20 年度ランク別傷病件数

	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	計
骨 折	0	25	22	0	0	0	0	14	4	0	39	26	65
打 撲	0	0	7	0	0	0	0	0	3	0	0	10	10
挫 傷	0	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	7	7
捻 挫	0	0	5	0	0	0	0	2	6	0	2	11	13
心臓器障害	0	0	0	6	11	0	0	0	0	6	11	0	17
脳疾患	0	0	0	2	15	0	0	2	0	2	17	0	19
その他	0	4	3	0	11	1	1	4	2	1	19	6	26
合計	0	29	42	8	37	1	1	22	17	9	88	60	157

### 1 3. 功労者等の表彰(425 万円)

永年にわたりゲートボールの普及に功績のあった個人ならびに本連合の諸事業に顕著な功績のあった加盟団体を表彰した。

#### 1) ゲートボール功労者表彰

ゲートボールの普及活動や組織運営に顕著な功労のあった方を、加盟団体からの推薦により、46 名を表彰した。

#### 2) 健康功労者表彰

加盟団体からの推薦により、ゲートボールを通じ永年健康を維持し医療費の軽減に努め、他の模範となった 70 歳以上の方、298 名を表彰した。

#### 3) 審判員功労者表彰

審判員功労者表彰規程に基づき、審判員の資格を取得し永年にわたり審判員として大会運営等に積極的に参加し、顕著な功績のあった方、944名を表彰した。

#### 4) 加盟団体表彰

平成21年3月31日現在の会員数・審判員数・指導員数・共済見舞金制度加入者数・機関誌購読者数等に基づき、日本連合の諸事業に貢献した加盟団体のうち、下記の上位3団体と部門1位団体を表彰した。

総 合	1 位	新潟県ゲートボール連盟
	2 位	長野県ゲートボール連盟
	3 位	福井県ゲートボール協会
登録会員数の部（対前年比会員数増減率）		高知県ゲートボール協会
登録審判員の部（対前年比会員比審判員登録率）		神奈川県ゲートボール連合
共済見舞金制度加入率の部（対会員比）		長野県ゲートボール連盟
指導員登録率の部（対会員比）		高知県ゲートボール協会
機関誌有料購読率の部（対会員比）		青森県ゲートボール協会

#### 1.4. 加盟団体との連携強化

##### (1) パソコンの活用と個人会員管理システムの構築準備

加盟団体で管理している個人会員について、データベース化を図り、各種文書の統一化と事務の合理化を図る目的で個人会員登録システムを構築するため、随時、加盟団体の意見を聞きながらシステム構築の具体的検討作業を進めた。

また、各種作業にパソコンを活用し事務の合理化を進めるとともに、加盟団体の依頼に応じた指導とデータの提供を実施した。

#### 1.5. 広報活動および啓蒙活動

愛好者の拡大を目的に、ゲートボールの普及活動の有効な手段として、機関誌の発行とテレビ放映を中心とした広報活動を展開し、さらに、インターネットを活用し各種情報を発信した。

##### (1) 機関誌発行业業(4,065万円)

ゲートボール界唯一の情報誌として好評を得ている機関誌「ナイスパル」を年12回（毎月10日）発行した。

掲載内容は毎号編集会議で検討し、本連合主催の全国大会の案内・成績の公表、親子いきいきランド等国内はもとより海外での各種普及事業の活動状況、各地域における大会等の紹介、さらに、ルールや作戦の解説、購読者からのお便り紹介等多岐にわたり掲載した。

しかし、加盟団体の積極的な拡販活動等により新規購読者は増加しているものの、既存の購読者の購読打ち切り等も多く、依然として本事業は厳しい収支の状況下にあるが、購読者の立場にたって内容を検討し誌面の充実を図り、購読者の拡大に努めた。



## (2) ホームページによる広報

随時ホームページを更新し、国際大会や全国大会の告知および開催結果、普及活動の事業成果の公表、初心者用パンフレットや規則、販売物品の紹介、加盟団体、認定用具業者の紹介等を掲載し愛好者のニーズに応えるとともに、事業報告・決算等も開示し公益法人としてデスクロージャーに努めた。さらに、ブログを開設し、よりタイムリーな情報提供を図るとともに日本財団や日本体育協会などの関係機関ホームページとの相互リンクにより、ゲートボールの認知度向上に努めた。

## (3) 刊行物・入門ツールの充実(516万円)

平成18年度の公式ゲートボール競技規則、審判実施要領の改正後、その内容の理解促進のため、昨年度は「ルールの解説『Q&A』～実践の迷い解消 ルールのここが知りたい!」を発行したが、本年度は奥深いと言われるゲートボールの作戦について焦点を当て、「知的スポーツの奥深さ追求『ゲートボール 理想の一手 50題』～この場面、あなたならどう展開しますか!?!」を刊行し、ゲートボールの面白さを前面に打ち出した。その他の出版刊行物についても継続的に発行した。

また、知的コミュニケーション・スポーツとしてのゲートボールの新たな可能性を引き出すため、2人制・3人制の競技要領を定め「リレーション-2(ダブルス)・リレーション-3(トリプルス)」の名称で展開していくこととし、パンフレットを作成・配布した。

### 主な出版刊行物

- ・公式ゲートボール競技規則 2007
- ・審判実施要領 2007
- ・ルールの解説『Q&A』(競技規則 2007 対応版)
- ・1・2級審判員資格試験想定問題集(競技規則 2007 対応版)
- ・3級審判員資格試験想定問題集(競技規則 2007 対応版)
- ・ゲートボール上達ハンドブック
- ・ゲートボール上達ハンドブック 2
- ・ゲートボール上達ハンドブック 3
- ・ゲートボール上達ハンドブック 4
- ・ゲートボール上達ハンドブック 5
- ・理想の一手

### パンフレット等

- ・レッツトライゲートボール
- ・全世代型ゲートボールクラブの育成
- ・レッツトライ! リレーション-2&3
- ・販売物品パンフレット(裏面注文書)

## (4) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映(1,002万円)

(日本財団助成事業)

全国大会の放映を中心に、コーナー番組を織り込みながら、年間37番組を新規制作し、再放送分を加えて毎日放映した。

期 間	平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日
制作・配信	株式会社日本レジャーチャンネル
配信方法	①スカイパーフェクTV! ②ケーブルテレビ 148 局（平成 21 年 3 月 31 日現在）
放送回数	365 回（毎日 8:00～8:55）

(5) 第 5 回アジアゲートボール選手権大会の記録映像の収録(315 万円)（日本財団助成事業）

第 5 回アジアゲートボール選手権大会の記録映像を収録することにより、今後の国際大会運営等の参考にするとともに、前記の「スーパーゲートボール」において大会の様子を放映した。

#### 1 6. 文部科学省の委託事業

文部科学省からの委託により、スポーツ交流推進事業を実施した。

##### 1) ゲートボール国際交流事業（334 万円）

韓国に高校生を中心とする選手・指導員を派遣して親善交流大会に参加し、韓国の高校生プレーヤーとの情報交換をするとともに韓国の学校関係者、青少年および韓国国民生活体育全国ゲートボール聯合会会員との国際交流を行った。

期 間	平成 20 年 11 月 7 日～ 11 月 11 日
派 遣 先	大韓民国・天安市
選 手 団	34 名派遣（指導員、引率含む）

#### 1 7. 海外普及のための事業（日本財団助成事業）(1,695 万円)

アジアゲートボール連合が主催し、台湾の彰化縣において開催された第 5 回アジアゲートボール選手権大会を支援するとともに、加盟団体の協力を得て国際審判員と選手を派遣した。

また、世界ゲートボール連合加盟団体や普及国・地域において国際親善大会が開催されるようになったことから、国際審判員や選手を派遣するとともに、普及国・地域には指導員を積極的に派遣し、ゲートボールをつうじた国際親善交流の促進を図るとともに技術力向上に努めた。

さらに、引き続き国際審判員の養成と普及の兆しのある国・地域に愛好者等より寄贈された中古用具の配布を行った。

特に今年度は韓国の釜山市において TAFISA 総合競技大会が開催され、ゲートボール競技に選手と国際審判員を派遣した。

##### (1) 第 5 回アジアゲートボール選手権大会への支援

期 日	2008年5月23日（金）～25日（日）	
開 催 地	台湾・彰化縣(彰化縣立體育場)	
主 管	彰化縣政府、中華台北槌球協會	
参 加 者	172チーム・1,197名(7カ国・地域)	
成 績		

順 位	チ ャ ム 名	所 属 団 体
優 勝	フ レ ン ド ス ポ ー ツ ク ラ ブ	日 本

準優勝	彰 化 縣 漳 興	チャイニーズタイペイ
第3位	台 東 縣 海 端 布 農	チャイニーズタイペイ
	雲 林 縣 C	チャイニーズタイペイ
敢闘賞	中 華 台 北 A	チャイニーズタイペイ
	新 竹 市 乾 呻	チャイニーズタイペイ
	I c h e o n A	大 韓 民 国
	宜 蘭 縣 聖 湖	チャイニーズタイペイ

## (2) 海外への派遣

以下のとおり役員、職員等を派遣した。

台 湾 (彰化縣)	4 月 19 日～22 日	大会準備支援	2 名派遣
台 湾 (彰化縣)	5 月 18 日～27 日	大会運営支援	4 名派遣
ブラジル(サンパウロ)	7 月 3 日～10 日	大会出席	2 名派遣
カナダ(バンクーバー)	7 月 25 日～30 日	大会出席	1 名派遣
大韓民国(釜山市)	9 月 25 日～29 日	大会出席	2 名派遣
中 国 (北京市・上海市)	10 月 6 日～ 9 日	表敬訪問・大会出席	2 名派遣
大韓民国(天安市)	10 月 5 日～ 8 日	文科省委嘱事業事前調査	1 名派遣
大韓民国(済州島・天安市)	11 月 4 日～ 9 日	普及指導ほか	1 名派遣
韓 国(天安市)	11 月 7 日～11 日	文科省委嘱事業	2 名派遣
台 湾(台北市・新莊市)	11 月 8 日～11 日	普及事業・大会出席	1 名派遣
フィリピン(セブ島)	12 月 2 日～ 9 日	普及事業・大会出席	1 名派遣
フィリピン (マニラ・スービック)	2 月 5 日～ 9 日	普及事業・大会出席	1 名派遣
インドネシア(バリ島)	3 月 5 日～10 日	普及事業・大会出席	2 名派遣
中 国(北京市)	3 月 27 日～31 日	普及事業	1 名派遣

## (3) 国内における国際交流活動

海外からチームを受け入れ、今年度で2回目となるジュニア国際交流大会を開催し、国境を越えたジュニア世代間相互の交流が図られた。数年前から本連合が世界各国へのジュニア世代の普及活動に取り組んできた成果が出たものと確信する。まだ小規模ではあるが、今後も継続して実施していく。

### 第2回ジュニア国際交流ゲートボールオープン大会

期 日	平成20年7月22日(火)
開 催 地	埼玉県熊谷市
会 場	熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
主 管	埼玉県ゲートボール連盟
参加国・地域	台湾、日本
参加チーム	16チーム(台湾2、日本14)
参加人数	105名

順位	チーム名(所属)
優勝	M A N A B U 会 (日本・福岡県)

(4) 第 4 回 釜山 TAFISA ワールドスポーツ・フォー・オールゲームズ(Trex-Games BUSAN 2008)

期 日 平成 20 年 9 月 26 日 (金) ~28 日 (日) (ゲートボール競技)

開 催 地 大韓民国・釜山市

会 場 サジックスタジアム (屋外競技場)

主 催 TAFISA  
(TRIM & FITNESS INTERNATIONAL SPORT FOR ALL ASSOCIATION)

主 管 韓国国民生活體育全國ゲートボール聯合會

参加国・地域 6 カ国・地域

参加チーム 96 チーム(日本 12 チーム)